

Starlink衛星通信で クラウド型カメラサービス「ソラカメ」の活用範囲を拡大

離島における資源循環インフラの実証を通じ、 通信環境を問わない遠隔映像活用の有効性を確認

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 玉川 憲)は、資源循環インフラの構築に取り組む株式会社JOYCLE(本社:東京都港区、代表取締役社長 小柳 裕太郎)が沖縄県竹富町・竹富島で実施した実証実験において、ソラコムのクラウド型カメラサービス「ソラカメ」と、KDDI株式会社が提供する衛星通信サービス「Starlink Business」を組み合わせた遠隔映像監視の有効性を実証したことをお知らせします。

本実証は、通信・電源インフラが限られる離島環境において、社会インフラとしての設備をいかに遠隔から安定的かつ省人化で運用できるかを検証するものであり、ソラカメにとっては、通信環境に制約がある場所での運用に際し、従来のWi-Fiやセルラー通信に加え、衛星通信を用いた映像活用の可能性を確認する取り組みとなりました。



JOYCLEは、離島や災害時における廃棄物処理や資源循環の課題に対し、発電・通信・処理を島内で完結できる分散型インフラ「JOYCLE BOX」の社会実装を進めています。

竹富島での実証実験では、平時の海洋ごみ・生活ごみの処理および、ごみの減量・資源化を実

現するとともに、災害時など非常時においても継続的な運用が可能であることが明らかになりました。

JOYCLEの実証実験詳細:

[発電・通信・資源化を島内で完結。平時はごみの減量、災害時は災害廃棄物をオンサイト処理できるIoTインフラ「JOYCLE BOX」、竹富島での実証実験にて海洋ごみの95%減容に成功](#)

今回の実証では、セルラー通信が届かないエリアでもインターネット接続を可能にする「Starlink Business」による衛星通信と、電源が確保できない場所でもクラウド型カメラを利用可能にする「ソラカメ屋外ソーラーキット」を組み合わせることで、地上系ネットワークが利用できない環境においても安定したインターネット接続を確保しました。



これにより、ソラカメの映像をリアルタイムで閲覧できるほか、クラウドに録画された映像を振り返って確認することが可能となり、通信手段や設置場所に左右されることなく、遠隔地から現場の状況を映像で把握できる運用を実現しました。

ソラカメはこれまで、Wi-Fiやセルラー通信を前提とした環境で多くの導入実績を重ねてきましたが、本実証を通じて、衛星通信という新たなネットワーク環境においても問題なく利用できることを確認し、地理的制約を超えた映像活用の有効性を確認しました。

本実証によりソラコムは、離島や山間部など通信インフラが限られた地域や、災害時に地上系ネットワークが寸断される環境、人が常駐できない屋外設備といった条件下においても、衛星通信とクラウド型カメラを組み合わせることで、映像を活用した設備管理が現実的な運用手段となり得ることを確認しました。

ソラコムは今後も、パートナーとの連携を通じて「ソラカメ」を活用した現場の課題解決を進めるとともに、AI/IoT活用をより身近なものとし、社会やビジネスのイノベーションに貢献してまいります。

JOYCLEについて

株式会社JOYCLEは、小型分散型のアップサイクル技術とデジタル技術を掛け合わせ、世界中の資源循環をアップデートすることを目指しています。ごみを「運ばず、燃やさず、資源化する」次世代インフラ「JOYCLE BOX」を展開し、離島や中山間地域、災害拠点における廃棄物処理の課題解決とレジリエンス強化に取り組んでいます。通信・エネルギー・資源化を一体化した分散型モデルにより、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

URL: <https://joycle.net/>

ソラコムクラウドカメラサービス「ソラカメ」

「ソラカメ」は、設置の容易なWi-Fiカメラでクラウド録画を利用できるカメラサービスです。

The advertisement for Soracom Cloud Camera Services features a central image of a hand holding a smartphone displaying a live camera feed of a restaurant interior. Above the phone is a white cloud with a black camera mounted on it. To the right, four circular icons illustrate use cases: a store interior, a back yard, an office reception desk, and a factory floor. Below these icons, the text 'Soracom Cloud Camera Services' and 'ソラカメ' is displayed. At the bottom, two screenshots of the service interface are shown: 'クラウド常時録画' (Cloud Continuous Recording) with a timeline from 07:00 to 10:00, and 'モーション検知録画' (Motion Detection Recording) showing two camera feeds with timestamps 15:23 and 12:36.

特徴

- iOS/AndroidスマートフォンアプリとWi-Fiがあれば利用をはじめられる
- 映像を常時録画しクラウド上に保存する「クラウド常時録画」と、動きや音などの変化をカメラが検知した場合に短時間の動画を保存する「クラウドモーション検知”無制限”録画」の2種類のライセンスで、7日、14日、30日、60日、90日間の保存期間を選択できる
- ライブ映像を無制限で視聴・ダウンロードできる「リアルタイムアクセス」機能
- カメラの管理や、映像をシステムやクラウドに連携するためのAPIも提供

「ソラカメ」対応カメラ

- ・ATOM Cam 2 3,980円/1台
- ・ATOM Cam Swing 5,680円/1台



※ 価格はすべて税込です。

「ソラカメ屋外ソーラーキット」

ソーラーパネルと充電バッテリー、通信ルーターと大容量アップロード通信SIMのセットです。屋外や電源・通信環境が整っていない場所でも、ソラカメが利用できます。



ソーラーキット一式 284,570円/1セット

- ソーラーパネル:1台
- 電源Box(屋外用防水ケース、充電バッテリー、電流制御装置):1台
- USB LTE/Wi-Fi ルーター :1台
- 大容量アップロード通信SIM :1枚

※ 価格は税込です。

※ ソラカメ対応カメラは付属しません。別途お買い求め下さい。

「ソラカメ」利用開始/購入方法

SORACOM IoTストア、または、SORACOMユーザーコンソールから購入できます。

ウェブサイト

<https://sora-cam.com/>

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報 田淵

pr@soracom.jp